

要望事項 『前進・絆』

第4代隊長小林2佐着任



私は、第四代第五通信隊長兼ねて第五旅団司令部通信課長を拝命した小林二佐である。

只今から第五通信隊の指揮を執る。

東の国防の第一線に位置する第五旅団の指揮の命脈を担う通信隊に着任できたことを光榮に思うとともに、その重責を鑑み、身の引き締まる思いである。さて、我が国周辺の情勢は、皆承知の通り、北朝鮮半島周辺の情勢は緊迫化するとともに、尖閣諸島周辺における中国艦船等の活動の活発化、ロシアの極東地域での軍事的活動の活発化等、予断を許さぬ状況が続いている。

また、国内においては、各種災害対処にあたりつつ、更なる巨大地震への備え等を推進している状況である。

また、現在陸上自衛隊は、「真に戦える組織」への改革を目指す「陸自始まつて以来の大改革」を推進中であるが、この第五旅団においても師団通信システム改への換装及び戦力化という一大事業を控えており、通信隊がその先陣にたつて引導していかねければならない。

このような情勢のもと、我々は常に現実的に物事を考え、与えられた任務を完遂できる部隊であることが必要と認識している。

そのために皆に二点要望したい。

その第一は「前進」である。

いづどこで、いかなる事態が起こっても、与えられた任務を確実に遂行するためには、現状に満足することなく、一人ひとりが更なる高い目標を掲げ、その目標達成のため、一步一步努力していかなければならない。

「1cmでも前へ」「一秒でも早く」着実に前進していつてもらいたい。

その第二は、「絆」である。

厳しい任務を限られた人員・装備をもって達成するためには、お互いが信頼し合うことが重要である。性格・考え方が同じ人間など一人としていない。普段からコミュニケーションを密にし、意見をぶつけ合って、酒等を酌み交わすことにより、絆を深めていつてもらいたい。

最後に、私がこれまでの部隊勤務で経験した中で指揮官になつたらと秘めていた思いを伝えたい。

「この第五通信隊を日本一の通信部隊にする。」この気概で部隊の精強化のため精一杯頑張りたい。皆も、失敗を恐れず、ついてきてもらいたい。宜しく頼む。以上

平成三十年三月二十三日

二等陸佐

小林 伸一郎

小林隊長プロフィール

生年月日 昭和50年8月9日
出身 愛媛県 01U
略歴
H16.3 第4通信大隊本部通信課信務保全班長
H18.3 同 通信運用班長
H19.3 同 隊本部付(＃116AOC)
H19.9 同 第2係
H19.12 部隊訓練隊評価分析科通信評価幹部
H20.8 幹部学校付(＃54CGS)
H22.8 第1通信大隊本部第2・3係主任
H24.3 通信学校第1教育部戦術教官
H24.8 陸上幕僚監部総務課付大臣官房広報課
H25.5 陸上幕僚監部総務課付大臣官房広報課企画調整班
H26.8 教育訓練部教育計画課訓練制度第2係、第1係
H28.8 幹部学校教育教育部作戦運用教育第1室教官

初度巡視



緊急通信車両



男子営内居室



第二小隊事務室

第3代隊長野呂2佐ご栄転



平成三十年三月二十三日付で第三代隊長野呂二佐は、補給処本部情報処理部システム運営課長(十条)として転出されました。

祝 定年退官

小原准尉は六月十一日付で定年退官を迎えられました。永年のご勤務お疲れ様でした。

先任上級曹長



平成三十年三月二十三日付で第三代先任上級曹長に上番いたしました長谷川准尉です。先任上級曹長としての地位・役割及び職務を自覚し、自己修養と実戦に努め、指揮官の補佐者として直轄官の「上意下達」「下意上達」を効果的に図れるよう邁進することを努力いたします。

行 事

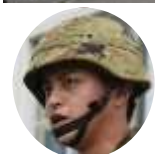
OBだより

五通OB会総会・懇親会を平成三十年四月二十一日(土) 帯広市内の坂本ビルにおいて行いました。
事業報告・監査報告のあと今年度も「母隊行事に積極的に参加する・会員相互の親睦を図る」をスローガンに活躍する事を誓い懇親会に移りました。
懇親会は亡くなられた五名の方に黙祷を捧げた後、今年度新たに修親会員になられた会員紹介と、記念品が贈呈されました。
懇親会は、一八時から会員三十四名・現職は小林隊長以下十四名の参加をいただき、旧交を深め、かつ、現職と語らい和気藹々のうちに終了いたしました。
五通OB会会長 賣場 峰生

平成30年度OB会役員

会 長	賣場 峰生
副会長	加藤 輝
副会長	結城 篤志
事務局長	伊原 博美
会 計	大西 千秋
監 査	佐藤 政明
監 査	岡村 和昭
幹 事	久保 力夫
幹 事	小石川 勝志

平成30年7月2日(月) 3曹昇任行事が行われた。5通の隊員として、また、陸曹として責任と自覚を深く確認した。
朝の非常呼集から始まり、出動準備、隊容検査、ハイポート等を行い、最後に決意表明を行い隊として昇任を祝った。



佐藤(一) 3曹



進藤 3曹



浅間 3曹



松浦(慎) 3曹



八重樫 3曹



北村 3曹

平成30年度第1次旅団訓練検閲 「概ね優良」



ハイ・ハイポーズ



前任による5通隊戦闘間の心得



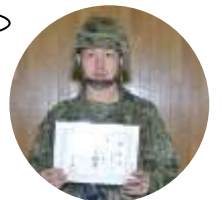
OB会長による隊員に激励

平成三十年六月二十二日(金) から同年六月二十七日(水) 平成三十年度第一次訓練検閲に参加。二十日に訓練開始式を実施しOB会長より激励のお言葉をいただき、隊長をはじめ隊員一同検閲に向け意欲をたかめていた。
また六月二十二日隊容検査を帯広駐屯地で行い、個人・車両等の点検等実施し然別に向け出発した。
二十七日の講評において「概ね優良」の評価をうけました。

本訓練検閲は、M・K・B 79を要望する



M 見えない 通信
K 切れない 通信
B バレない 通信



優秀隊員 長3曹



背囊入れ組み点検



救急法(個人による止血)



車両点検 (何聞かれているの?)



捕獲(不審者確保)!



唯一の温食(味わって食べて)



旅団長に報告

自衛官募集

募集態勢強化期間(7月2日~12月21日)

「資格」18歳以上27歳までの方 (自衛官候補生)

「受付期間」年間を通じて行います

採用試験日 年間を通じて行ってますので、細部はお問い合わせください。

「資格」18歳以上27歳までの方 (一般曹候補生)

「受付期間」H30年7月1日(日)~9月7日(金)

1次試験日 H30年9月21日(金)~23日(日)のうちいずれか1日



転入者等の抱負

転入者



隊本部
一等陸尉
折橋 秀治

この度定期異動で副隊長に上番いたしました。宜しくお願い致します。道東の守りの要であるこの帯広駐屯地で勤務できることの喜びと、副隊長という重責に身が引き締まる思いではありますが、隊長を核心として良き伝統を継承するとともに、新しい風を吹かせられるように、日々精進して参ります。

平成三十年三月二十三日付



隊本部
二等陸尉
畠田 一彰

この度の定期異動で訓練幹部に上番しました。輝かしい歴史と伝統に溢れる第五通信隊で勤務できますことは、喜びと同時に身が引き締まる思い出あります。訓練幹部として、今年度装備される師団通信システム(改)の戦力化及び旅団訓練検閲における高評価獲得に寄与できるように職務に邁進していきたいと思ひます。

平成三十年三月二十三日付



隊本部
三等陸尉
中尾 祐大

三等陸尉任官後、BOCを卒業しこの春転属を迎えることができました。第五通信隊で与えられた任務を全うすることはもちろんのこと、私の基盤となってくれる家族を大切に、新しい環境に慣れ、どんな困難も家族で乗り越えていけるように頑張っていきます。

平成三十年三月二十三日付



第一小隊
二等陸曹
高橋 由浩

この度の異動で通信学校(久里浜)から第五通信隊勤務になりました。初めての全国異動であり今までの異動と異なり全く縁もゆかりもない土地に行くことになり不安なことばかりですが一刻も早く、部隊・土地・人に慣れて即戦力になれるように日々精進してまいります。

平成三十年三月二十三日付



隊本部
二等陸曹
桜庭 世清

第五高射特科群から部隊補給陸曹として上番しました。初めての異動と業務ではありますが新しい事に精一杯挑戦し微力ながら隊に貢献できればと思ひます。至らない点が多々あると思ひますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

平成三十年三月二十三日付



第一小隊
三等陸曹
鈴東 大

東部方面通信群から異動してきました。初めての野外通信、北海道勤務での期待と不安で一杯です。第五通信隊の器材や訓練を経験し一歩ずつでも成長していきたいと思います。中期実員管理でないと経験できなかった人とのつながりを大切にして任務に邁進していきます。

平成三十年三月二十三日付

部隊配属



第二小隊
三等陸曹
小林 秀行

この度異動で第五通信隊勤務になりました。今回の異動が初めてとなりますので色々な不安や悩みはありますが、若手陸曹として失敗に恐れることなく何事にも挑戦する気持ちを持ち、また後輩隊員の指導にも力を入れて、頑張っていく所存であります。少しでも早く新しい環境に慣れ、部隊に貢献できるように全力で取り組んでいきますのでよろしくお願い致します。

平成三十年三月二十三日付



第一小隊
三等陸尉
森合 龍之介

この度、第九十八期一般幹部候補生を終了し第五通信隊に異動してきました。部隊の温かい歓迎により無事に着隊することができました。また業務内容等右も左も分からない状況ですが、一刻も早く活躍出来るように勤めていきます。また、「やる気、元気、負けん気」を大切に初級幹部になる者としての気概を示していきたいと思ひます。

平成三十年一月二十七日付



第二小隊
三等陸尉
会川 拓也

第五通信隊勤務を命ぜられた一般幹部候補生の会川です。通信科隊員としての意識と初級幹部の職責を隊付教育をもって着実に学んでいく所存です。幹部候補生学校で培った実員指揮を実践すべく、失敗を恐れることなく積極進取の心意気で日々精進して参ります。

平成三十年一月二十七日付

転出

補給統制本部 (十条)へ
隊長 二佐 野呂 俊裕
北部方面通信群(札幌)へ
隊本部 二尉 前中 康佑
第五後方支援隊(帯広)へ
第二小队 三尉 館林慎一郎
北部方面総監部付隊(札幌)へ
隊本部 准尉 佐藤 峰雄
釧路駐屯地業務隊(釧路)へ
隊本部 二曹 中野 浩美
第十一通信隊 (真駒内)へ
第一小队 二曹 松田 勇夫
第一空挺団 (習志野)へ
第二小队 三曹 松田 直也
平成三十年三月二十三日付
第二後方支援連隊(旭川)へ
隊本部 一尉 真鍋 秀定
第七通信大隊(東千歳)へ
隊本部 二曹 眞壁 修孝
第七通信大隊(東千歳)へ
第一小队 二曹 森 俊一
北部方面通信群(札幌)へ
第二小队 二曹 佐々木貴幸
第三〇一映像写真中隊(市ヶ谷)へ
隊本部 二曹 大倉 慎吾
帯広地方協力本部(帯広)へ
第一小队 三曹 品川 知美
平成三十年八月一日付

退職者

二任期満了退職
第二小队 士長 佐々木翔太
平成三十年三月二十七日付
一任期満了退職
第一小队 士長 大竹 由佳
平成三十年三月三十日付
第一小队 士長 種田 聡
平成三十年四月一日付
依願退職
隊本部 士長 黒澤 悟
平成三十年三月三十日付
第一小队 士長 竹田 正章
平成三十年七月三十一日付

転入

幹部学校 (目黒)から
隊長 二佐 小林伸一郎
北部方面通信群(札幌)から
副隊長 一尉 折橋 秀治
北部方面通信群(帯広)から
隊本部 二尉 畠田 一彰
第一高射特科群(東千歳)から
隊本部 三尉 中尾 祐大
通信学校 (久里浜)から
第一小队 二曹 高橋 由浩
第五高射特科群 (八戸)から
隊本部 二曹 桜庭 世清
東部方面通信群(勝田)から
第一小队 三曹 鈴木 大
第十一通信隊(真駒内)から
第一小队 三曹 小林 秀志
平成三十年三月二十三日付
北部方面通信群(札幌)から
第一小队 一尉 矢野東 晋
第七通信大隊(東千歳)から
隊本部 二曹 稲垣 実
第七通信大隊(東千歳)から
第一小队 二曹 斉藤 光洋
北部方面通信群(札幌)から
第二小队 三曹 高橋 恭平
平成三十年八月一日付

昇任

【三等陸尉へ】
第一小队 曹長 森合龍之介
第二小队 曹長 小川 公人
平成三十年三月十七日付
【幹部候補生】
第一小队 三曹 田中 圭一
隊本部 三曹 金平 拓磨
平成三十年三月三十一日付

賞詞

【第三級賞詞(職務遂行)】
二佐 野呂 俊裕
平成三十年三月十九日付
【第四級賞詞(職務遂行)】
二尉 岩崎 大輔
二曹 松田 勇夫
二曹 澤井 辰則
三曹 松田 直也
平成三十年三月十九日付
【第五級賞詞(職務遂行)】
曹長 出口 忠志
曹長 佐々木健二
曹長 永田 一美
二曹 中野 浩美
二曹 中村 睦
三曹 牧下 純也
三曹 金平 拓磨
三曹 吉田 義隆
平成三十年三月二十日付
【第五級賞詞(車両無事故)】
二曹 中村 睦
三曹 牧下 純也
平成三十年三月二十日付

【陸士長】
第一小队 一士 三富 慶大
同 一士 東山 朋稀
平成三十年四月一日付

【陸曹長へ】
隊本部 一曹 藤田 俊之

【一等陸曹へ】
第一小队 二曹 寺沢 康博
隊本部 二曹 八木 誠一

【二等陸曹へ】
第二小队 三曹 駒木 一也
同 三曹 平野 悠希

【三等陸曹へ】
第一小队 陸士長 松浦 慎
同 陸士長 北村 龍也
同 陸士長 八重樫 葵
平成三十年七月一日付

【第五級賞詞(無事故走行)】
三曹 永木 貴康
平成三十年六月十五日付

【第四級賞詞(職務遂行)】
一尉 真鍋 秀定
二曹 大倉 慎吾
二曹 大橋 峰

平成三十年七月二十六日付

【第五級賞詞(隊員自主募集)】
准尉 長谷川晃一
三曹 永木 貴康

平成三十年七月五日付

【第五級賞詞(職務遂行)】
一曹 山田 智樹
二曹 眞壁 修孝
二曹 森 俊一
二曹 佐々木貴幸
三曹 梅木 浩一
三曹 品川 知美

平成三十年七月三十日付

祝誕生



平成三十年
三月二十二日生まれ
士長 松浦 道也
つむぎちゃん



平成三十年
四月十四日生まれ
士長 横尾 一輝
まなか
愛 叶ちゃん



平成三十年
七月四日生まれ
曹長 田中 圭一
ゆずは
柚羽ちゃん

防衛省職員(家族)団体障害保・総合賠償型・親介護保障型特約
(団体長期障害所得補償保険)

防衛省共済組合団体扱火災保険・防衛省退職後団体障害保険

防衛省共済組合団体扱がん保険・防衛省共済組合団体扱火災保険

＜お見積り・資料請求 <http://webby.Aflac.co.jp/boueii/>＞

☆その他各種障害保険(ゴルフ等)

【取扱代理店】弘済企業株式会社

連絡先 帯広駐屯地保険室在住(所長)大久保 武(副所長) 森 愛子
内線 2777

あいおいニッセイ同和損保

自動車・火災・傷害・賠償

積立火災・傷害・介護費用

ガン・医療・生命保険

他各種

ツカサ商事有限会社

TKS

代表取締役 戸塚 義明

帯広市西8条南32丁目

☎ (0155) 48-9896 FAX 47-2545